



Washington Japanese Language School

ワシントン日本語学校

はなみずき

mail:wjls@wjls.org <http://www.wjls.org/>



2022年3月5日 発行 第39号

ワシントン日本語学校
校長 神戸 昭夫

[ワシントン日本語学校事務局]

HOT LINE (301)962-7415

TEL (301)962-7410

FAX (301)962-7411

卒業スピーチ発表会「高等部2年国語」 テーマ「ワシントン日本語学校の学びを終えて」(2月26日)

「今から5分間の練習をしてもらいます。緊張した空気が漂っていますね。これから録画を取ります。どんな気持ちで学んできたか、この後どんなことをしたいのかぜひ聞かせてください。」

<(^)o(^)>皆さん、とても立派なスピーチでした。以下に少しだけ紹介します。

楽しかったのは運動会。紅白のリレー選手に選ばれるように自主的に練習した。一致団結の頑張りが必要なことを学んだ。努力している周りの人たちに影響され、またお互いを助け合う大切さも学んだ。

心の通じ合える友達がいたから日本語学校に通い続けることができた。

小学部の時は土曜日が楽しみだった。中学部の時は押しつぶされそうになった。

「継続は力なり」という言葉を実感した。

無駄とは何か。それは個人が決めること。最終的には無駄を決めるのは私。

学ぶ意欲がないと暗記すらまともにできない。

アイデンティティを意識し始めた。自分の存在意義が見えてきた。みんながアイデンティティと向き合っていた。

たくさんのピンチを乗り越えて、そのたびに両親や先生、友達に励まされて日本語学校を続けることができた。

日本語も英語もネイティブでどちらの国で育ったと言われてもおかしくないくらいの読み書きができることが自分の唯一の強み。

アメリカの大学に通い、途中で日本にも留学を考えている。やめなくてよかったと思っている。

母は行かなくてもいいよと言ったが日本語を忘れることの恐怖を覚えた。アメリカと日本のどっちが好きと聞かれると、正直日本かな？

平日は現地校、土曜日は補習校、夏は日本。

道は険しかったけど、いい経験ができた。

無理やりなじもうとしていた。自分を変えるのではなく、自分らしさを保つことが大切だと思っている。自分がやりたいように行動する大切さを感じた。

喜び、悲しみ、いら立ち、劣等感、焦り、感動、安心、不安、感謝、勇気、尊敬、緊張、様々なものが混ざりあってなし得たこと。

両親の協力などがなければ続けることは不可能でした。

<(^)o(^)>取材に見えていた保護者の方の言葉です。「感動しました。日本語を学ぶことは一時期、壁になったことは確かなことだが、立ちはだかった壁はいつかみなさんを守る壁に必ずなる。将来を信じて努力を続けてください。」



米国日本通運株式会社は2022年1月より、
社名を**NXアメリカ株式会社**へ変更致しました。



帰国の際の引越はNXアメリカにお任せください

お問い合わせ、お申込みはNXアメリカ ワシントン営業所まで

TEL: (703)-661-8326 (日本語ダイヤル)

URL: <http://www.nittsu.com/hikkoshi>

